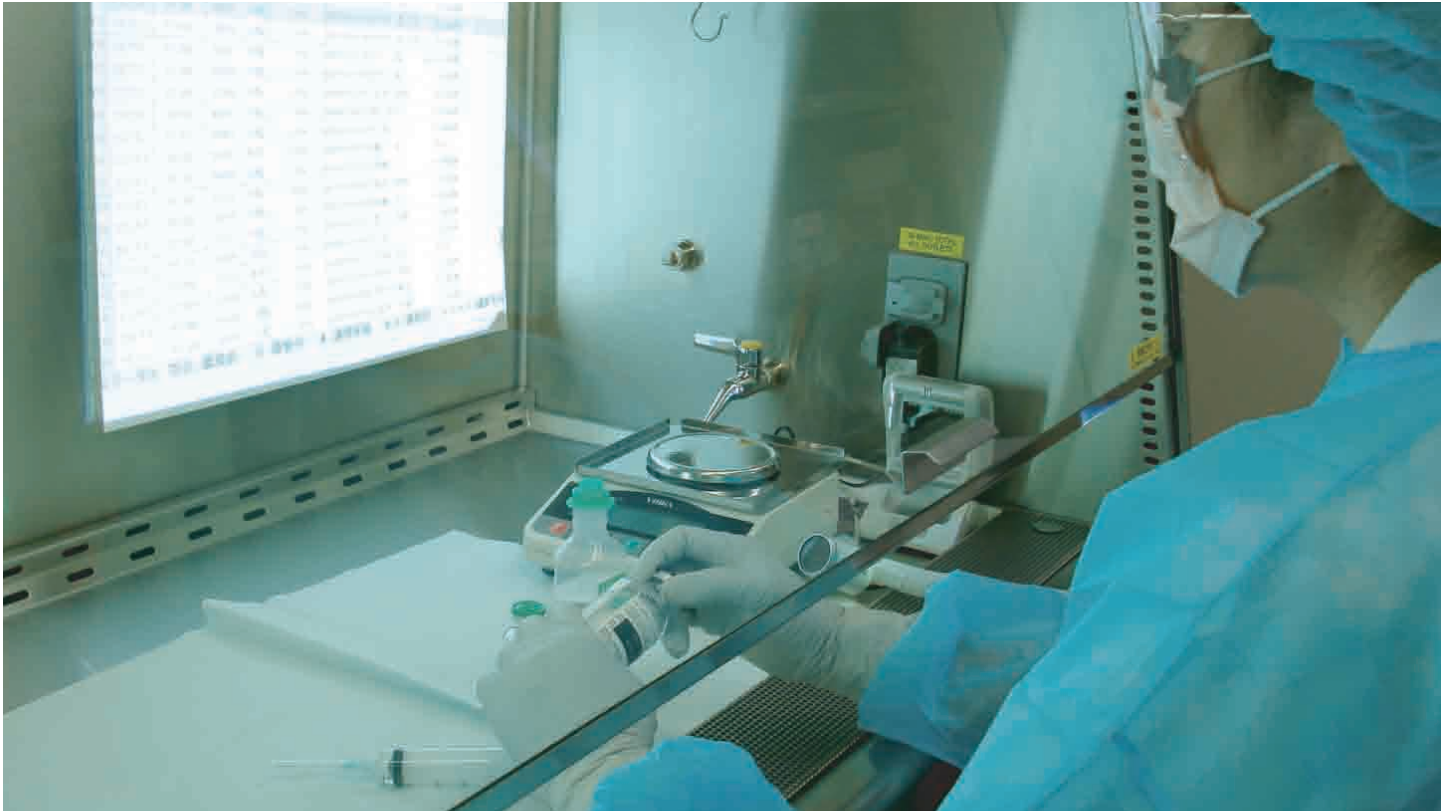


注射薬に対する調製エラーリスクや調製履歴をデータ管理。  
現在お使いのクリーンベンチ・安全キャビネットで使用できます。



### 導入のメリット

調製時の患者間違いによる  
調製リスク回避

調製量の自動計算による  
リスク回避

調製履歴のデータ管理

調製履歴データを利用した  
帳票出力

ダブルチェックの効率化

配置人員の効率化

### システム概要

システムの概要としては、上位のホストシステムから注射オーダーを受信し、注射解析で調製を行うデータを生成します。薬剤部で行う注射薬の調製を、ソフト面、ハード面、両方から支援します。

上位システム



電子カルテ

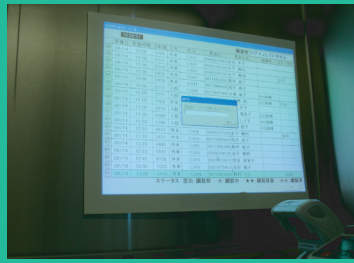
薬剤



注射オーダー受信システム



調製用データの作成



## 薬剤部で行う注射薬の混合を、ソフト面、ハード面、両方から支援します

### 処方オンライン

#### 上位システム：電子カルテの運用例

##### ① 患者認識

だれの、  
どの処方



注射薬抽出システムで個人セットされた際に出力される輸液ラベルにバーコード印字を行い、そのバーコードを読み取る事で調製すべきデータの整合性をとります。

##### ② 薬品認証

バーコード  
認識

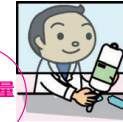
薬品確認



データ確定ができれば、薬品のチェックとしてRSSバーコードによる自動認識を行います。

##### ③ 調製

画面秤量  
表示



薬品が確定できれば、オーダー量の秤量チェックを行います。全ての秤量が済みましたら鑑査終了です。

##### ④ 完了

混合完了!



これで混合完了です。

### 調製作業フェーズ

調製室で患者データの確定を行い、処方内容の薬品チェック、秤量チェックをします。

プロジェクタ・液晶モニタ



画像取り込み

薬品ラベル  
バーコード読込

電子天秤

調剤者の確定

#### 秤量鑑査システム クリーンルーム内



調製作成内容の画面表示を行います。電子天秤と連動して、秤量の表示を行います。処方を行なう注射薬を撮影し、画像を保存します。※秤量値が誤差範囲外の場合はエラー表示します。

◀無菌調製室

#### 調製モードの切替

##### 薬品重量鑑査モード

薬品重量鑑査の場合(抜き取る前の薬品から抜き取った後の薬品重量での鑑査)

##### シリンジ重量鑑査モード

シリンジで重量鑑査の場合(抜き取るべき液量をシリンジに抜き取ってから計る)

調製モードは薬品ごと鑑査していく薬品モードと、シリンジで抜き取ったあとに秤量するシリンジモードを用意しています。鑑査する段階で、どちらのモードを選択するか選べます。

### 最終鑑査フェーズ

調製の鑑査が済みましたら、調製室の外で管理者の方が最終鑑査を行います。

#### 最終鑑査システム クリーンルーム外



調製済み処方の調剤者、調製時刻、調製内容を参照できます。調剤者の作業内容を確認し最終鑑査内容(担当、時間)を記録に残します。

調製結果は  
集計データに  
利用

※製品改良のため仕様・構成などを予告なく変更させていただく場合がございます。  
※本カタログは印刷のため実際の製品と色合いが多少異なる場合がございます。  
※カタログ掲載内容は2020年6月現在のものです。

**TOSHO**  
Your best pharmacy solution

株式会社トーショー  
本社 〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-8-8  
TEL: (03) 3745-1331 (代)

トーショー公式サイトはコチラ▶  
<https://www.tosho.cc/>



○製品ご購入に関するお問合せ・ご相談は上記連絡先までお願い致します。